

# 柏野だより

## 防災まちづくりの取り組みを始めます！

西陣織のまちとして栄えた柏野学区は、京町家や路地などといった**歴史的な風情が色濃く残る**地域です。一方で、**狭い路地や古い木造家屋が多く、空き家も増加**しており、**大規模な地震や火災**などが起きた際には、緊急車両が通行できない、建物が倒壊して道が塞がれ住民の避難や救助ができない、火災が広がるなどにより、**大きな被害**を受けることが想定されます。

こうした課題に対応し、**柏野学区の良さを残しつつ、安心・安全に住み続けられる災害に強いまちの実現**に向けて、今年度より京都市まち再生・創造推進室と連携して、**まちの安全性を高める『防災まちづくり』**に取り組むこととしました。

この取り組みを進めるためには、住民の皆さんお一人おひとりのご理解とご協力が不可欠です。今後、住民の皆さんのご意見を伺いながら取り組みを進めていきたいと思っておりますので、是非ともご協力をお願いいたします。

## 「防災まちあるき」にご参加ください。

防災まちづくりの取り組みを進めるにあたり、皆さんがお住まいの地域がどういう状況なのか、どんな危険や課題があるのかなどについて、まずは**皆さんで確認・共有**することが重要です。

そこで、地域の防災上の課題や身近な危険箇所等を確認するとともに、まちの将来像を思い描きながら課題解決のあり方などについて意見交換することを目的に、「**防災まちあるき**」を実施します。

住民の皆さんにおかれましては、大変ご多忙とは存じますが、是非ご参加をお願いいたします。  
(写真は、他の学区での取り組み事例です。)



路地の幅員の計測



避難経路の安全性の確認



建物の安全性の確認



振り返り(意見交換)

<p><b>第1回 まちあるき</b> A・B ブロックを 歩きます</p>	<p>平成27年 <b>9月27日(日)</b> 午前<b>10時～12時頃</b>まで 集合：<b>柏野福社会館2階</b></p>	<p><b>【小雨決行】</b></p> <p>全2回で柏野学区 全体を歩きます</p>
<p><b>第2回 まちあるき</b> C・D・E ブロックを 歩きます</p>	<p>平成27年 <b>10月18日(日)</b> 午前<b>10時～12時頃</b>まで 集合：<b>柏野福社会館2階</b></p>	

※1) まちあるきはブロック単位で行い、該当する町内の方みんなでまちを歩きます。  
 ※2) 1時間程度まちを歩いた後、柏野福社会館に移動して振り返り(意見交換)を行います。  
 ※3) 町内会長には、別途ご依頼文をお渡ししています。

**裏面もご覧ください**

# 「防災まちづくり」とは

「防災まちづくり」は、地震等の災害に備え、「建物」や「道」などの安全性を高めることを通じて、**災害に強いまちをつくるための取組**です。

取組にあたっては、**個人個人はもとより、学区全体で**、地域での防災面の課題や防災意識を共有しながら、以下の視点を踏まえて進めていくことが重要です。

## 建物に関すること

皆さんが住んでいる家を倒れない・燃えにくくすることで、皆さん自身の生命を守るとともに、建物の倒壊による道の閉塞や延焼防止につながります。

空き家は、防災だけでなく防犯や景観・環境上の問題にもつながるため、空き家化の防止や空き家対策を考えることが必要です。

- ・ 自宅の耐震診断を受ける
- ・ 自宅を耐震・防火改修する
- ・ 空き家の適正管理
- ・ 空き家の活用
- ・ 老朽空き家の除却 など

## 道に関すること

災害が起こった際の避難経路を常日頃から確認しておくとともに、避難・救助・消火活動がしやすい道づくり・環境づくりが大切です。

風情のある町並みも大切にしながら、災害時に緊急車両が円滑に通行できる広い幅員の道の重要性を考えることも必要です。

- ・ 防災の軸となる道を広げる
- ・ 沿道の建物やブロック塀を耐震改修する
- ・ 避難経路を確保する
- ・ 建替えしやすい道にする
- ・ 路地を整頓する など

## まち全体に関すること

まち全体の安全性を高めるためには、「建物」や「道」などの取組を個々に進めるだけでなく、学区を見渡しながらか、日頃から防災意識や課題を共有し、みんなで考え取り組むことが大切です。

特に、柏野学区では、災害時に避難や延焼防止に役立つ広場や幅の広い道路が不足しているため、そうした空間をどう確保するかも重要な課題のひとつです。

- ・ 空き地や駐車場を防災のための広場として整備する
- ・ 地域の集合場所を確認する
- ・ 避難や建替えのルールを町内で考える など

## 今後の予定

防災まちづくりは、様々な取組みをひとつひとつ着実に積み上げていくことが大切であり、これらの取組みを継続的に進めていくには、学区全体が方針や対策の進め方を共有するための「**防災まちづくり計画**」が必要となります。今年度から3年間かけて防災まちづくりの計画づくりに取り組み、4年目以降、その計画に基づき、継続的に取り組んでいきます。

1年目	2年目	3年目	4年目以降
まちあるき → 方向性の検討 → 防災まちづくり計画の検討 (策定)			継続的な取り組み 計画に基づく
随時進める取組み (老朽建物やブロック塀の改善など)			
アンケート・意見交換会等 (随時)			
ニュースの発行、学区行事等でのPR等 (随時)			